

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：保健環境研究費

事業名 【新】岐阜県健康科学センター空冷式ヒートポンプ チラー改修工事

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

保健環境研究所 総務課 管理調整係 電話番号：058-380-2100

E-mail：c22614@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 37,400 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	37,400	0	0	0	0	0	0	0	37,400
決定額	37,400	0	0	0	0	0	0	33,600	3,800

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

空冷式ヒートポンプチラーR-4は、平成11年の健康科学センター建築当時から更新されておらず、令和4年12月頃から突然停止する不具合が頻発し、設備管理業者により再起動するなどして対応しているところ。

R-4は主に保健環境研究所4階・5階の冷暖房に使用しているが、4階には質量分析計や超低温装置等があり、高温状態により故障の危険性が高まる。また、5階では主に細菌・微生物に関する検査を行っているため、室温の調節ができない状態では、正常な検査を行うことができない。

現状のままでは、検査・分析業務に重大な影響を生じる恐れがあるため、早急な改修工事が必要である。

(2) 事業内容

空冷式ヒートポンプチラー改修工事

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	37,400	空冷式ヒートポンプチラー改修工事
合計	37,400	

決定額の考え方

財源については、県債を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
岐阜県県有建物長寿命化計画

(2) 後年度の財政負担
単年度事業

(3) 事業主体及びその妥当性
県有施設である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
健康科学センターの庁舎維持

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

施設修繕の工事に係る経費のため

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	健康科学センターには、保健環境研究所の他、岐阜保健所が入居し、地域の保健衛生拠点施設として運営する必要がある。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	計画的に修繕を実施することで、施設の長寿命化を図ることができる。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位を定め、計画的に実施している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 竣工後21年が経過しており、設備のオーバーホール等の大規模修繕が必要となる。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県有施設中長期保全計画により、適切な維持管理に努める。
--